大津緑洋高等学校日置校舎で木材加工の出前授業を実施しました！

令和４年 11 月 24 日（木）、山口県立大津緑洋高等学校日置校舎の１年生 22 名を対象に「木材加工」に関する出前授業を実施しました。

この取組は、高校生に県産木材の良さや、木材加工に関する理解を深めてもらい、林業や県産木材を取り扱う地元産業への就業を促進するために、県と（株）シンラテックが連携して行ったもので、「林業」の出前授業に続いて２回目となりました。

最初に農林水産事務所の職員が「山口県の森林と木材利用」の概要を説明した後、（株）シンラテックの担当者が「会社の業務内容や木材加工に関する取組」をスライドや現物を使って説明しました。

生徒は、「木材加工」に関する話を聞くのは初めてでしたが、スライドや動画説明に加え、加工製品を手に取って感触を得たことで、「木材」への関心を高め、大切さを実感するとともに、「木材産業」への理解も深めたようでした。

今後も関係機関が連携して、一人でも多くの若者が林業や木材産業等の地域木材を活用する担い手となるよう活動を継続する予定です。

授業の状況

加工製品を触って、木材の大切さを実感！